

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山梨県甲州市

自治体名 : 山梨県甲州市
担当課名 : 生涯学習課
電話番号 : 0553-32-5098

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）」の一環として、山梨県（甲州市）が実施した「令和6年度地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	総面積264 km ²
人口	29,078人
公立中学校数	4校
公立中学校生徒数	650人
部活動数	46 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

甲州市における地域連携・地域移行の現状

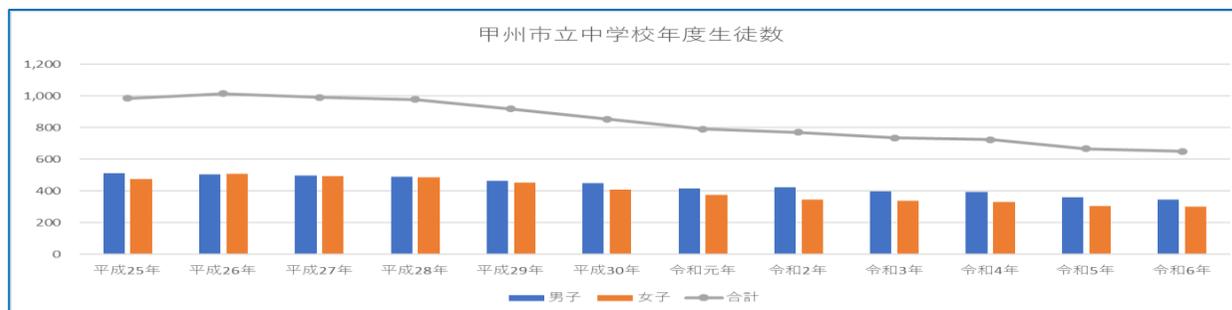
過疎化と高齢化、また全国的な傾向である人口減少及び少子化による市内中学校の統廃合が進んでいる。市町村合併した平成17年当時に市内に5校あった公立中学校は、現在4校に減り、令和7年度には3校まで減少予定である。

このように少子化の影響に対し、部活動種目の適正な維持と、段階的な地域移行を促進するため、当市ではコーディネーターの配置と推進委員会を設置し、令和5年度は市としての地域移行への方針を策定、令和6年度は試験的な地域クラブの設立と移行準備、学校や地域への調整を行い、令和7年度には段階的な地域移行を進めていく予定である。

甲州市における地域連携・地域移行の課題

少子化の波は、部員数の確保困難による休部や、団体種目の部員数が足りず、既に他校と合同で部活動を行っている種目もあり、運動種目の適正な維持・継続とが徐々に難しくなっていく状況である。

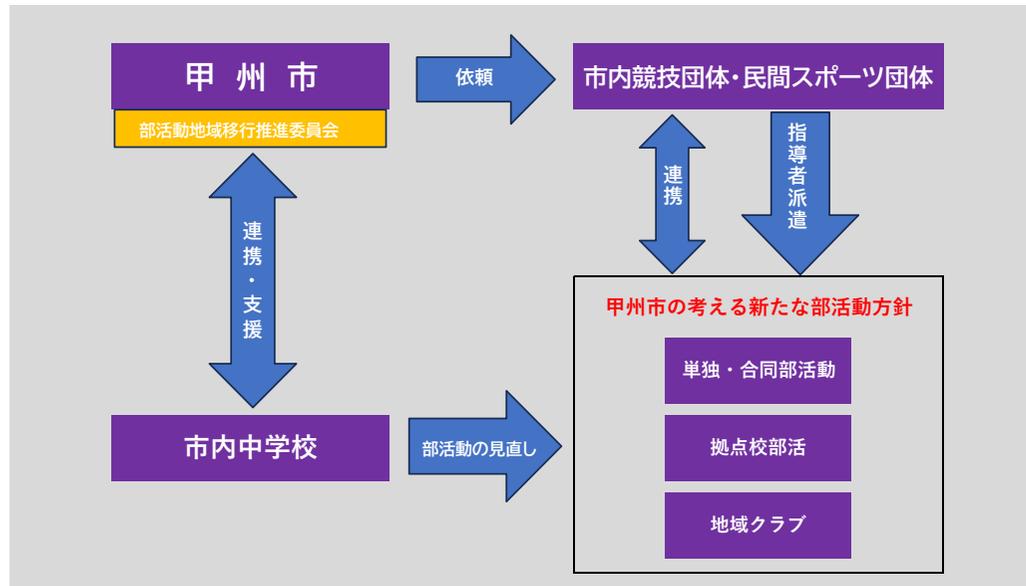
このため、市内中学校での運動部活動の整理や合同化を進めて、地域連携等により存続する種目と、地域移行への促進を図る二種類のパターンへの仕分けを行っていく方針であるが、どちらを進めるにも、人口減少が進むスポーツ人口も少ないため指導者確保が大きな課題となる。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

●教育委員会（生涯学習課）

- ・運動部活動の地域移行を主体となり実施。コーディネーターの配置し、方針案の検討と策定及び調整
- ・甲州市運動部活動地域移行推進委員会の事務局として、市の方針を決めて、実行

●教育委員会（教育総務課）

- ・部活動現場での教職員、生徒との調整
- ・生徒、保護者への周知等

年間の事業スケジュール

令和6年6月	第1回甲州市中学校運動部活動地域移行推進委員会
令和6年7月	第1回実証事業生徒募集
令和6年 7月～8月	現部活顧問の競技ごとの意見集約
令和6年8月	実証事業の開始 第1回実証事業生徒募集
令和6年11月	第2回甲州市中学校運動部活動地域移行推進委員会
令和6年12月	第2回実証事業生徒募集
令和7年1月	新入生保護者説明会
令和7年1月	新1年生向け部活動アンケート及びアンケート集計
令和7年3月	第3回甲州市中学校運動部活動地域移行推進委員会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1クラブ （ラグビーフットボール部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	9人	全体の運営スタッフ数	9人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは末尾 に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導 者数	会費	大会参加方法
甲州市ラグ ビークラブ	地域クラブ	ラグビーフット ボール	月 2 回	13：30 ～ 16：00	1年生12名 2年生 5名 3年生11名	【前期】 令和6年8月24 日～9月29日 【後期】 令和7年1月12 日～2月9日	塩山中学校校庭 勝沼中央公園グ ラウンド 他	9人	年会費 1300円	中体連：部活 動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

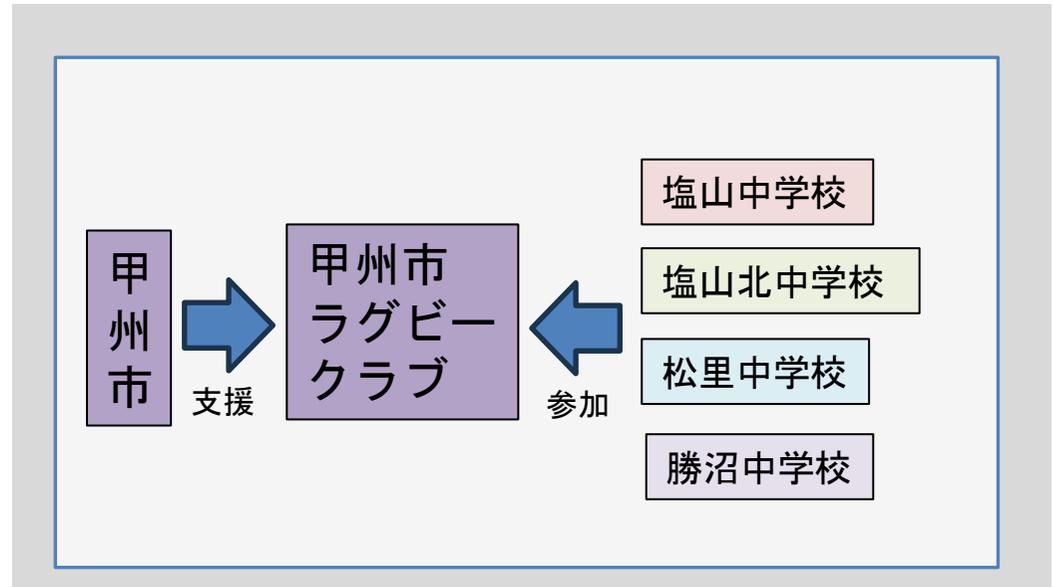
- 令和6年7月の1学期終業式前と12月の2回、地域クラブ（ラグビー部）と拠点校（女子ソフトボール部）の募集を行った。
- 令和7年1月に開催された新入生保護者説明会において、現在の状況説明を行った。

主な取組例

●甲州市ラグビークラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ラグビーフットボール
運営団体名	甲州市ラグビークラブ
期間と日数	8月24日～2月9日 練習:月2回程度 練習試合・公式戦
指導者の主な属性	地元の指導者・市内中学校教諭
活動場所	塩山中学校・勝沼中学校
主な移動手段	自転車・保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	ラグビー: 1,300円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり: 800円/年 指導者1人あたり: 1,850円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者 1名
役割: 連絡調整、クラブ運営に関わることを行う
- 主任指導者 2名
役割: 練習内容の決定、指導者への連絡、練習に伴うことを行う
- 運営補助者 1名
役割: クラブ員への連絡、事務に係ることを行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- コーディネーター1名の配置
 - ・関係団体・市町村等との連絡調整等
 - ・運営団体・実施主体の体制整備や質の確保
- 甲州市中学校運動部活動地域移行推進委員会の開催（年3回）

取組の成果

- コーディネーターについては、昨年度から引き続き同じ方を任用したことで、事業に継続性を持って進められた。また、コーディネーターが元中学校教諭であったことから、各中学校との連携もスムーズに行えた。
- 推進委員会に保護者代表を入れたことで、保護者や生徒の意見を聞くことが出来た。
- 本年度も中学校各競技部から意見を聞き取り、各部活動の現状を把握することができた。今後の課題や方向性についてを認識することが出来て、事務局との関係構築となった。
- 現在外部に指導をお願いしている部活動等には、市団体競技部から聞き取りを実施し、外部団体と地域クラブ化に向けての協議ができた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 市内中学校との連絡調整
- 他自治体の情報共有
- 実証事業の甲州ラグビークラブとの連絡調整、活動補助等
- 会議への参加
- 各競技ごとの顧問へのヒアリング

今後の課題と対応方針

- 関係者への周知と協力体制の構築
- 指導者の確保
- 体育施設利用のルール設定
- 部活動地域展開の広報活動

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項（イ）

- 昨年度まで、協力してくれていた外部指導者への説明と協力
- 指導者に対して、年1回の研修会を開催（1月）
- 日本スポーツ協会ワークブック、動画「ケーススタディから考えるグッドコーチング～グッドプレーヤーのさらなる育成を目指して～」を活用し研修を実施した。合わせて「部活アプリクラブマネージャー」の利用方法等を、株式会社アスフィールより説明を受けた。
- スポカルやまなしを活用しての指導者確保（マッチングなし）

取組の成果（イ）

- 指導者9名を確保
- 研修会時には9名中6名が参加。当日、不参加だった指導者には資料の送付と研修動画の視聴を依頼し、全員が視聴した。

【参加指導者の声】

- ◆これまでのコーチングから、今の生徒や保護者に対応したグッドコーチへの変革が必要だと感じた。
- ◆注意一つにしても、一方的に伝えるのではなく、本人と対話する中で、その子に合った言葉で伝えることが重要。

今後の課題と対応方針

- 今年度については、9名の指導者が交代で指導を行えた。
- 中心的指導者の声掛けにより、協力いただいた指導者については、継続的な関わりを持つための新たな仕組みが必要である。
- 指導者の年齢が20代～50代と幅広い世代であり、多くの意見や指導方法などの意見交換が活発に行えた。
- 指導者に対して、資質向上のための研修の受講や資格取得を促進する。本年度は1回の開催だったが、来年度は複数回開催予定



総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- 本年度は、実証事業の実施初年度であり、試験的に季節部のラグビー部を地域クラブ化して、多くの方々より協力や助言をいただき、クラブ運営をすることが出来た。課題点が見えてきた。
- 実施事業の拠点校方式の女子ソフトボール部については、応募が無く残念であったが、部活動の活動方式により、参加出来ない大会があるなどの課題が見えてきた。
- 生徒や保護者、部活動顧問への理解を深めるための活動として、地域クラブ募集チラシの配布とともにQ&Aをつけた。
- 新1年生保護者説明会で、部活動の状況説明が実施できた。

●成果の評価

- ・課題が見えたことで、次年度の実証事業に向けて、早期の段階から新たな地域クラブの発足に向けて取り組んでいく。
- ・少子化による部活動が成り立たない中学校もあることから、今後は平日の部活動も含め、地域に展開していかないとならない。

●今後に向けて

- ・部活動の地域移行は、当初「教員の働き方改革」が最優先されてきたが、現在は「生徒が将来にわたり、スポーツ・文化芸術活動を親しむ機会の確保・充実」が理念となっていることから、令和7年度からは甲州市部活動推進協議会の中の「分科会」の積極的な活動のもと、市と教員、地域が一体に取り組むべき体制整備をし、常に「生徒」が主体であることを念頭に置いて、甲州市としてとれる体制を整備するためにも、早期に市としての方向性を決めて、取り組んでいくことが望ましい。
- ・近隣自治体との広域的な合同部活動が今後はもっと増加することから、自治体連携も必要となってくる。また峡東教育事務所に配置されたコーディネーターを含めた東山梨地区の協議会等の設置が欲しい。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

●令和6年度、実証事業の実施に伴い地域クラブ（ラグビー部）拠点校方式（女子ソフトボール部）への参加チラシを作成し、全生徒に配布した。本年度は7月と12月の2度募集した。

●来年度の事業方針を定めるため、現小学6年生へアンケートを実施し、子どもたちの希望や状況の把握に努めた。

【生徒への参加募集チラシ】

甲州市立中学校運動部活動「拠点校」「地域クラブ」参加者募集
令和6年度 第2次募集(現1,2年生)

甲州市では、部活動の地域移行を進めています。

令和6年度は「女子ソフトボール部」「ラグビー部」の2種目を実証的に行います。

- 部活動は、休日の月2回程度です。
- 「女子ソフトボール部」は、塩山中を「拠点校」として練習をします。
- 「ラグビー部」は、塩山中・勝沼中を会場に「地域クラブ」として練習をします。

※ 現所属部活動とは別に、誰でも参加できます。
※ 参加を希望する中学生の皆さんは、内容を確認して、下の**申込用QRコード**から申し込んでください。

拠点校	地域クラブ
<p>★女子ソフトボール部★</p> <p>練習場所 塩山中学校グラウンド 部費 月500円程度 (現在種別と同額) 練習内容 個々のレベルにあった基礎練習から 募集人数 制限なし(現1,2年生) 在籍部員数 現1年生7名、現2年生4名 持ち物 学校体育着、スパイク、グローブ 指導者 塩山中学校加山先生 他コーチ3名 指導者から一言 ソフトボールはとても楽しい競技です。打つ、投げる、捕るなど、まったく経験がない生徒でも楽しく取り組めます。その人のレベルにあった練習をしていますので心配はありません。ぜひ、私たちと一緒にソフトボールを始めませんか！</p>	<p>☆ラグビー部☆</p> <p>練習場所 塩山中学校、勝沼中学校グラウンド 部費 大会参加費等の負担あり (前年度と同額程度) 練習内容 個々のレベルにあった基礎練習から 募集人数 制限なし(現1,2年生) 在籍部員数 現1年生6名、現2年生3名 持ち物 学校体育着、スパイク、マウスピース(初回練習時に指示あり) 指導者 塩山中学校内田先生 他コーチ9名 指導者から一言 活動内容はQRコードを読み取ってHPを開き確認してみてください。 マルチスポーツに取り組んで、身体を鍛え、仲間を増やしましょう！ONE TEAM！！</p>

第2次募集締切日 令和6年12月20日

甲州市HP 地域移行ページ



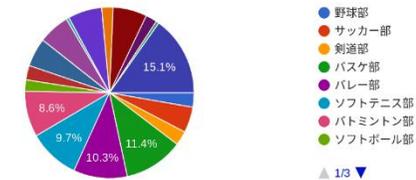
申込用QRコード



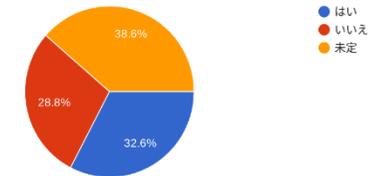
【問い合わせ】
〒404-0053 甲州市塩山小堀敷1854
甲州市教育委員会生涯学習課 スポーツ振興担当
☎ 0553-32-5098 / FAX 0553-32-2837

【アンケート結果 一部抜粋】

質問5 ここからは塩山中、松里中、勝沼中のどれ...。※入部先を決定するアンケートではありません。
185件の回答



質問6 中学校入学後、スポーツクラブや教室等（スポーツ・文化）に通う予定がありますか？
184件の回答



2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【甲州市中学校部活動地域移行推進委員会】



【市内中学校新入生保護者説明会】



【甲州市ラグビークラブ 選手権大会への参加】



【甲州市ラグビークラブ新人戦への参加】

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



- 年3回（7月、11月、2月）、推進委員会の実施。
- 部活種目の整理と地域クラブの体制整備に向け、甲州市としての基本方針について協議、決定をした。
- 令和5年4月コーディネーター2名を委嘱、7月「甲州市中学校運動部活動地域移行推進委員会を設置」構成は教育長を顧問、スポーツ推進審議会、スポーツ協会、スポ少、スポーツ推進協議会、総合型地域スポーツクラブ市PTA代表、市内中学校長、運動部活動顧問を中心に委嘱。
- 教員間の意識の相違に課題が見られた。

- コーディネーターが主体となり地域クラブ指導者への声かけ。
- 令和6年度に部活動整理を行う際、季節部であるラグビー部の指導者に声かけしたところ、興味を示したため地域クラブ設立の打診を行った。
- 創設前であるが、受益者負担の方法や地域クラブを統括する体制が決まっていなまでの方針決定となった。
- 部活動整理に辺り、現在活動中の部活動の地域クラブ化は、ハードルが高いため、季節部である種目から声をかけて実施への合意に到った。

- 市事務局で学校現場と児童・生徒・保護者向けの説明会を開催。
- 令和7年度から部活動整理等の開始に向けて、児童生徒保護者への情報発信と理解促進をし、地域クラブ活動の活性化につなげる。
- 甲州市の特性として、地域移行には、学校現場での意識差をなくすことの方が重要ではないかと考えるため、より密に連携を行える体制を構築する。

- 学校現場との調整により部活動の地域クラブ化の促進。
- 現状の部活動整理により、将来の地域クラブ化の足掛かりとする計画であるが、生徒数や顧問の専門性など、状況により移行可能な種目を見出すことも可能であると考え検索を行う。
- 現状の形での部活動に固執する教員も少なからずいるため、意識改革を行うかが課題である。
- 学校や顧問などと緊密な連携を取り計画外の種目にも地域クラブ化が可能な種目を探し出す。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

